

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

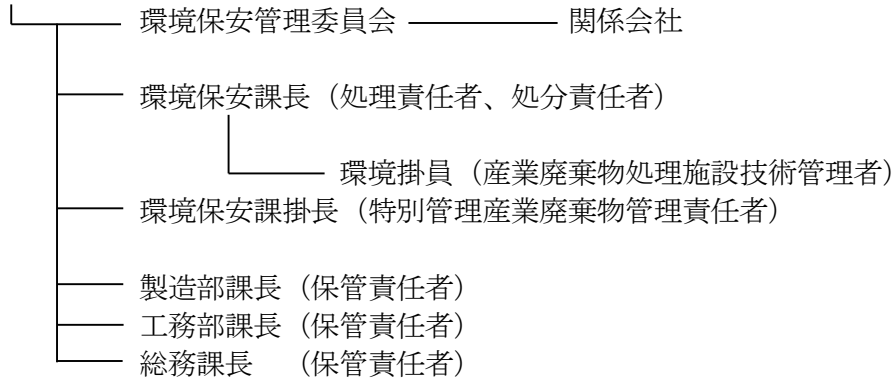
産業廃棄物処理計画書	
令和7年 6月 30日	
愛知県知事殿	
提出者	
住所	愛知県東海市新宝町31番地
氏名	東レ株式会社 東海工場
工場長	市岡 亮嗣
電話番号	052-689-1500 (代表)
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	東レ株式会社 東海工場
事業場の所在地	愛知県東海市新宝町31番地
計画期間	令和7年 4月 1日 ~ 令和8年 3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	16：化学工業
② 事業の規模	製造品出荷額 5,751,646万円
③ 従業員数	256名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	廃アルカリ：自社中間処理後、委託処分（焼成） ばいじん：直接委託処分（セメント原料） 燃え殻：直接委託処分（セメント原料、焼成） 汚泥：自社中間処理減量後委託処分（焼却）、直接委託処分（焼却等） 廃油：直接委託処分（焼却、燃料化） 廃プラ：直接委託処分（原料化、燃料化、焼却） 廃酸：直接委託処分（焼却、中和） 木くず：直接委託処分（原料化、燃料化） ガラス陶磁器屑：直接委託処分（材料）

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

工場長



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類 別紙のとおり

排出量 別紙のとおり

（これまでに実施した取組）
廃アルカリ、汚泥、廃油
：発生工程の適正管理による発生量増加抑制。
ばいじん、燃え殻
：発電用ボイラーの石炭代替え燃料使用による発生量抑制。
廃プラスチック、木くず、ガラス陶磁器屑
：場内分別ルール（ISO14001）教育による分別強化。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類 別紙のとおり

排出量 別紙のとおり

（今後実施する予定の取組）
発電関係のばいじん・燃え殻や廃アルカリ・汚泥・廃油・廃プラスチックと発生量は前年度計画値並みに予測される。
引き続き石炭代替え燃料使用の促進や発生工程管理強化により、発生原単位が悪化しないよう発生量抑制に努める。
また、工場廃棄物ゼロエミッションの継続達成に向けてのアプローチとして、再資源化（サーマル・マテリアルサイクル）の推進継続を図る。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
廃プラスチック、ガラス陶磁器屑、木くず
※場内分別ルールの教育（ISO14001）

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
場内分別ルールの教育継続（ISO14001）

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量		
	(これまでに実施した取組)		
	令和6年度 実績なし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		
	(今後実施する予定の取組)		
	令和7年度 計画なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙のとおり	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別紙のとおり	
	(これまでに実施した取組) 廃アルカリ：発生工程の適正管理による, 中間処理設備の工程安定化 汚泥：中間処理設備の工程安定化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙のとおり	
	(今後実施する予定の取組) 廃アルカリ：現状維持 汚泥：現状維持		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 令和6年度 実績なし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 令和7年度 計画なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全 処 理 委 託 量	別紙のとおり	
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	別紙のとおり	
	再生利用業者への処 理 委 託 量	別紙のとおり	
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	別紙のとおり	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	別紙のとおり	
	(これまでに実施した取組) 中間処理業者の現地確認（監査）時に、優良認定および熱回収認定の取得をしていない業者については取得の推進をお願いしている。 新規契約の際は優良認定業者に優先して処理を委託する。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全 処 理 委 託 量	別紙のとおり	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり	
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり	
	(今後実施する予定の取組) 昨年度に引続き、認定取得推進をお願いするとともに非対応が長く 続きそうな場合、認定業者への切り替えも検討する。		
	※事務処理欄		

備考

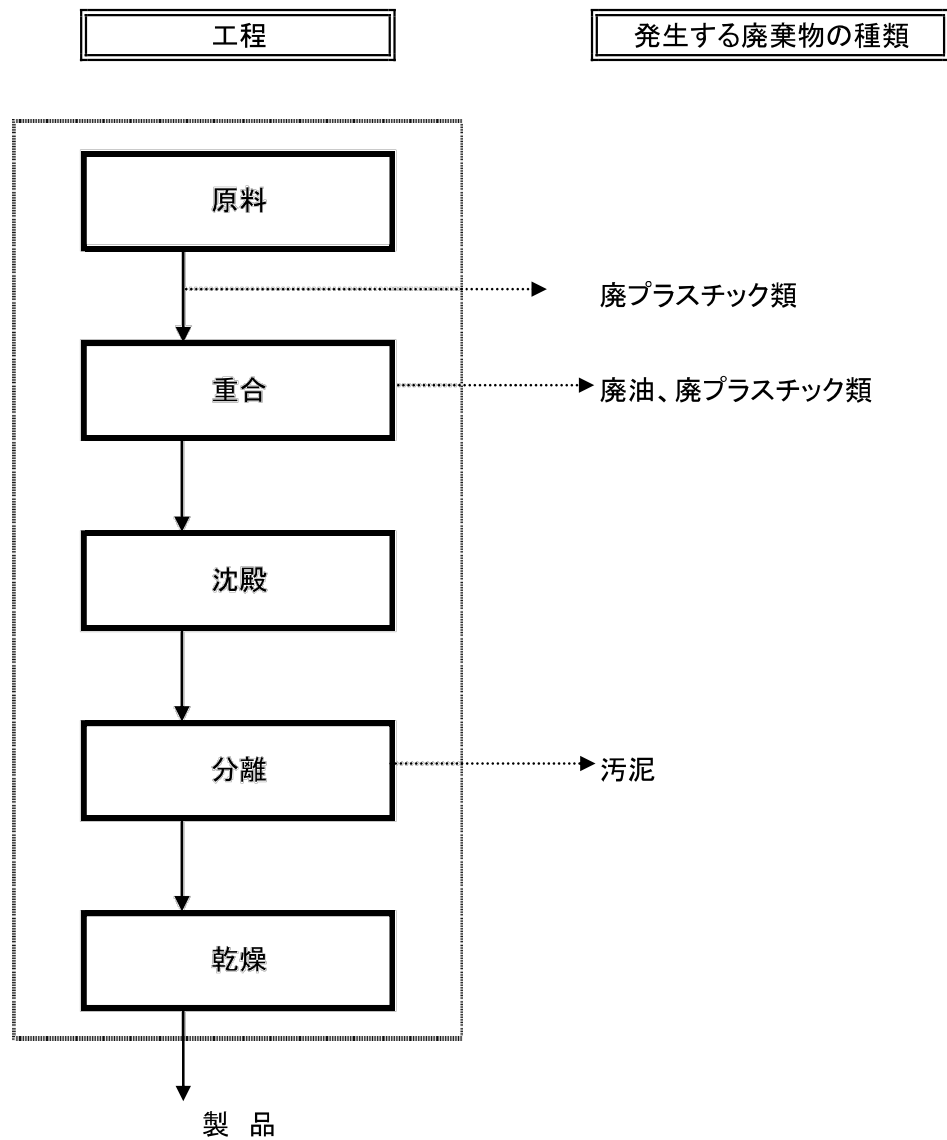
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

項 目			産業廃棄物の種類										
			廃アルカリ	ばいじん	燃え殻	汚泥	廃油	廃プラ	木くず	ガラス陶磁器屑	廃酸	金属くず	合計
産業廃棄物の排出抑制に関する事項	排出量	①現状(前年度)	12,787.00	32,396.08	2,141.36	34,630.36	612.04	73.99	168.35	5.11	137.95	0.02	82,952.26
		②計画(目標)	18,000.00	40,000.00	3,600.00	50,000.00	1,000.00	200.00	200.00	15.00	200.00	0.00	113,215.00
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	①現状(前年度)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		②計画(目標)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	①現状(前年度)	12,787.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	12,787.00
		②計画(目標)	18,000.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	18,000.00
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	①現状(前年度)	12,757.65	0.00	0.00	33,611.82	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	46,369.47
		②計画(目標)	17,900.00	0.00	0.00	43,000.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	60,900.00
自ら行う産業廃棄物の埋立・海洋処分に 関する事項	処分量	①現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		②計画(目標)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
産業廃棄物の処理の委託に関する事項	全処理依託量	①現状(前年度)	29.35	32,396.08	2,141.36	3,709.05	612.04	73.99	168.35	5.11	137.95	0.02	39,273.30
		②計画(目標)	100.00	40,000.00	3,600.00	7,000.00	1,000.00	200.00	200.00	15.00	200.00	0.00	52,315.00
	優良認定業者への 処理委託量	①現状(前年度)	29.35	16,601.42	1,574.93	3,305.84	612.04	73.99	0.00	5.11	137.95	0.02	22,340.65
		②計画(目標)	100.00	20,000.00	2,000.00	5,000.00	1,000.00	200.00	200.00	15.00	200.00	0.00	28,715.00
	再生利用業者への 処理委託量	①現状(前年度)	29.35	32,396.08	2,141.36	2,363.10	191.12	18.71	168.35	5.11	137.95	0.02	37,451.15
		②計画(目標)	100.00	40,000.00	3,600.00	4,000.00	300.00	50.00	200.00	15.00	200.00	0.00	48,465.00
	認定熱回収業者への 処理委託量	①現状(前年度)	0.00	0.00	0.00	1,002.09	391.43	38.22	0.00	0.00	0.00	0.00	1,431.74
		②計画(目標)	0.00	0.00	0.00	2,000.00	600.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2,700.00
	認定以外の熱回収を行う 業者への処理委託量	①現状(前年度)	0.00	0.00	0.00	343.86	29.49	17.06	0.00	0.00	0.00	0.00	390.41
		②計画(目標)	0.00	0.00	0.00	1,000.00	100.00	50.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1,150.00

※現状(前年度):令和6年度実績です。

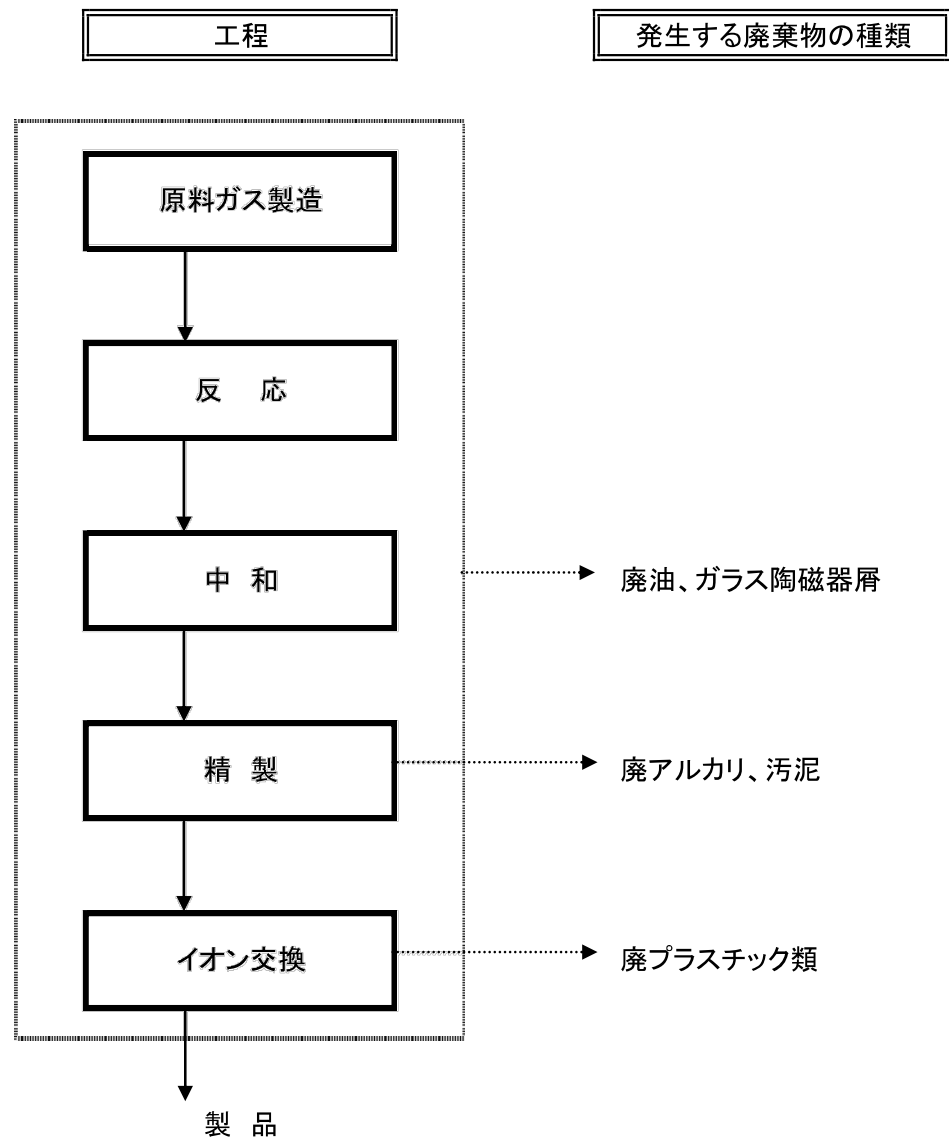
産業廃棄物発生工程フローシート

工程名: VP-05ポリマー製造工程(有機EL原料)



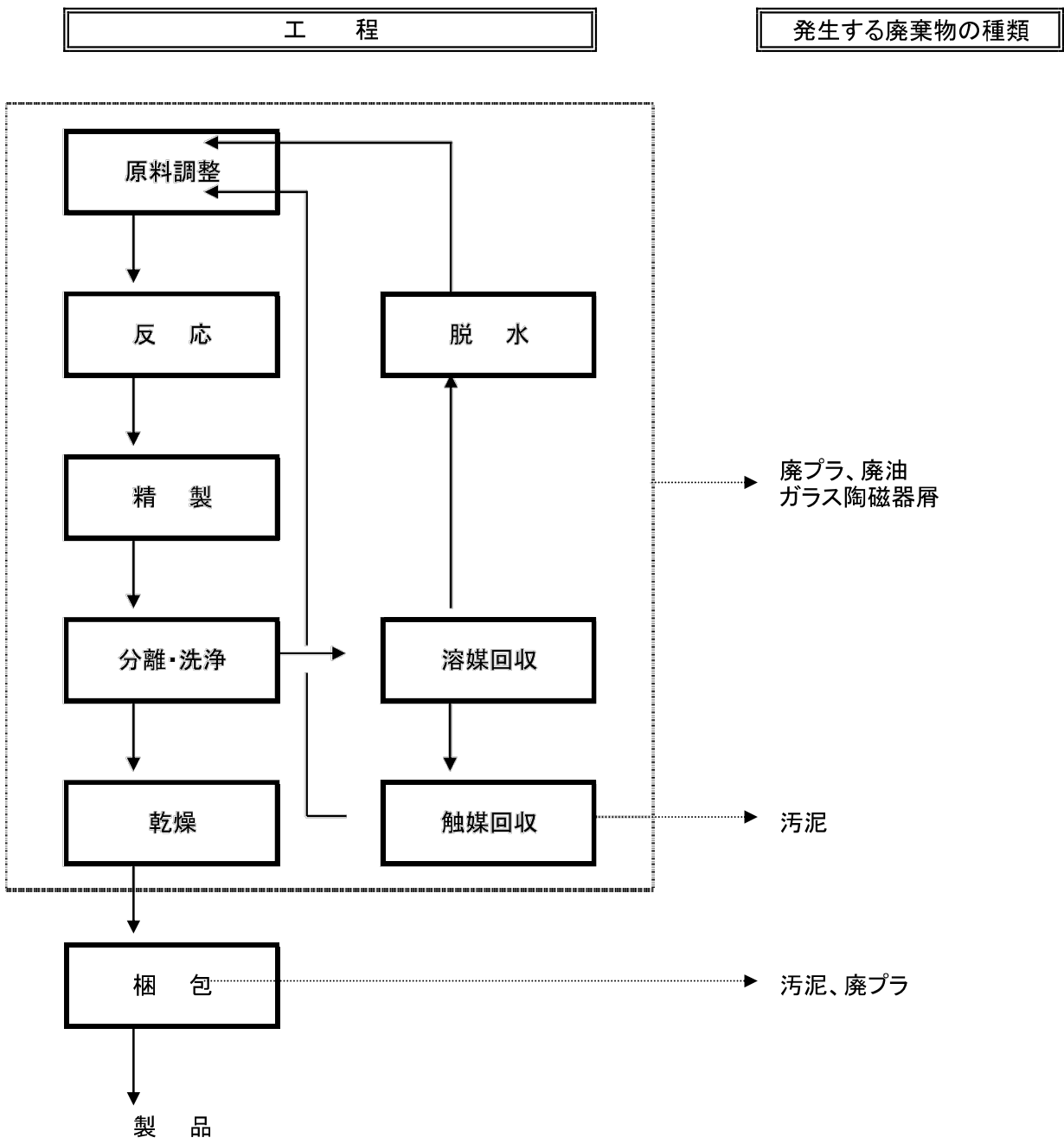
産業廃棄物発生工程フローシート

工程名: カプロラクタム製造工程



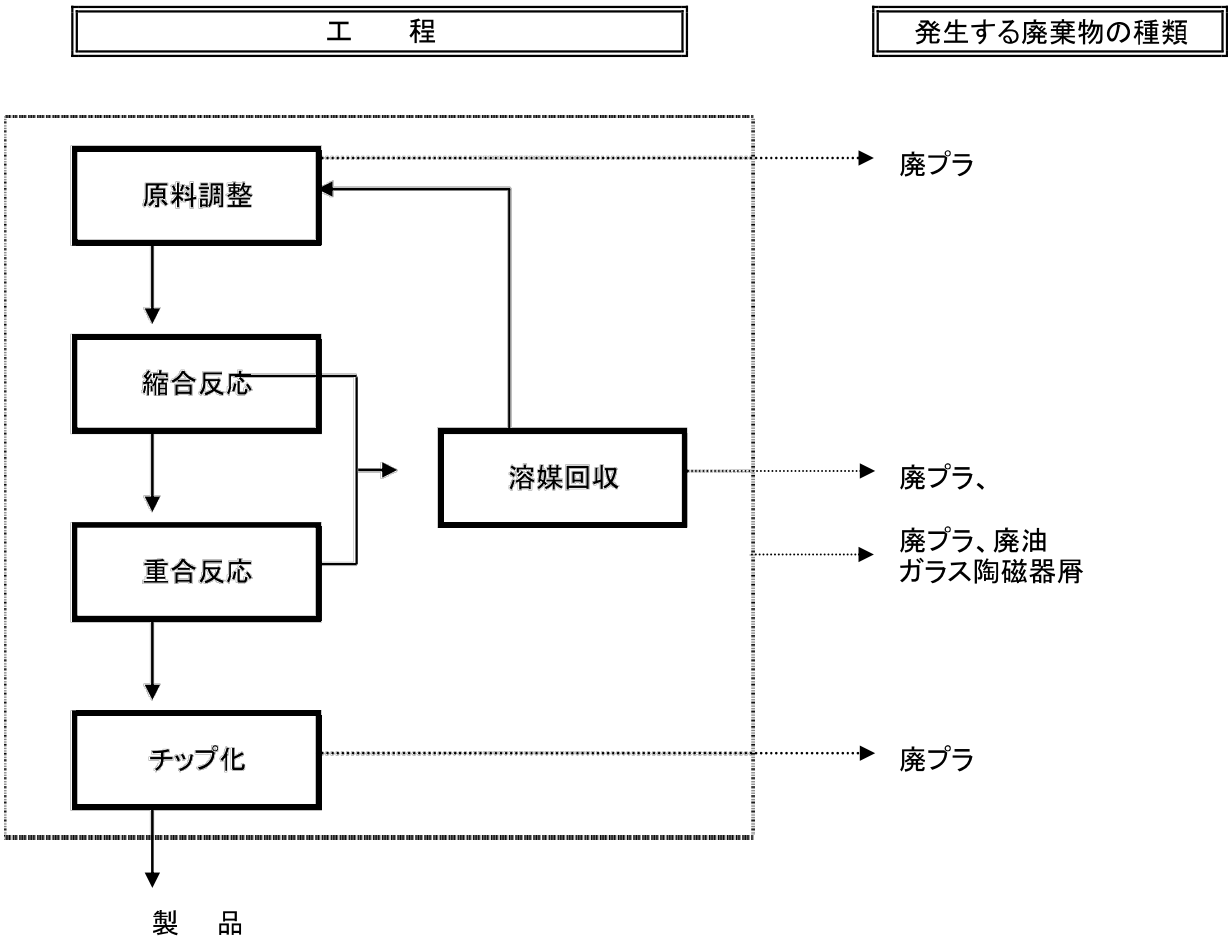
産業廃棄物発生工程フローシート

工程名:テレフタル酸製造工程



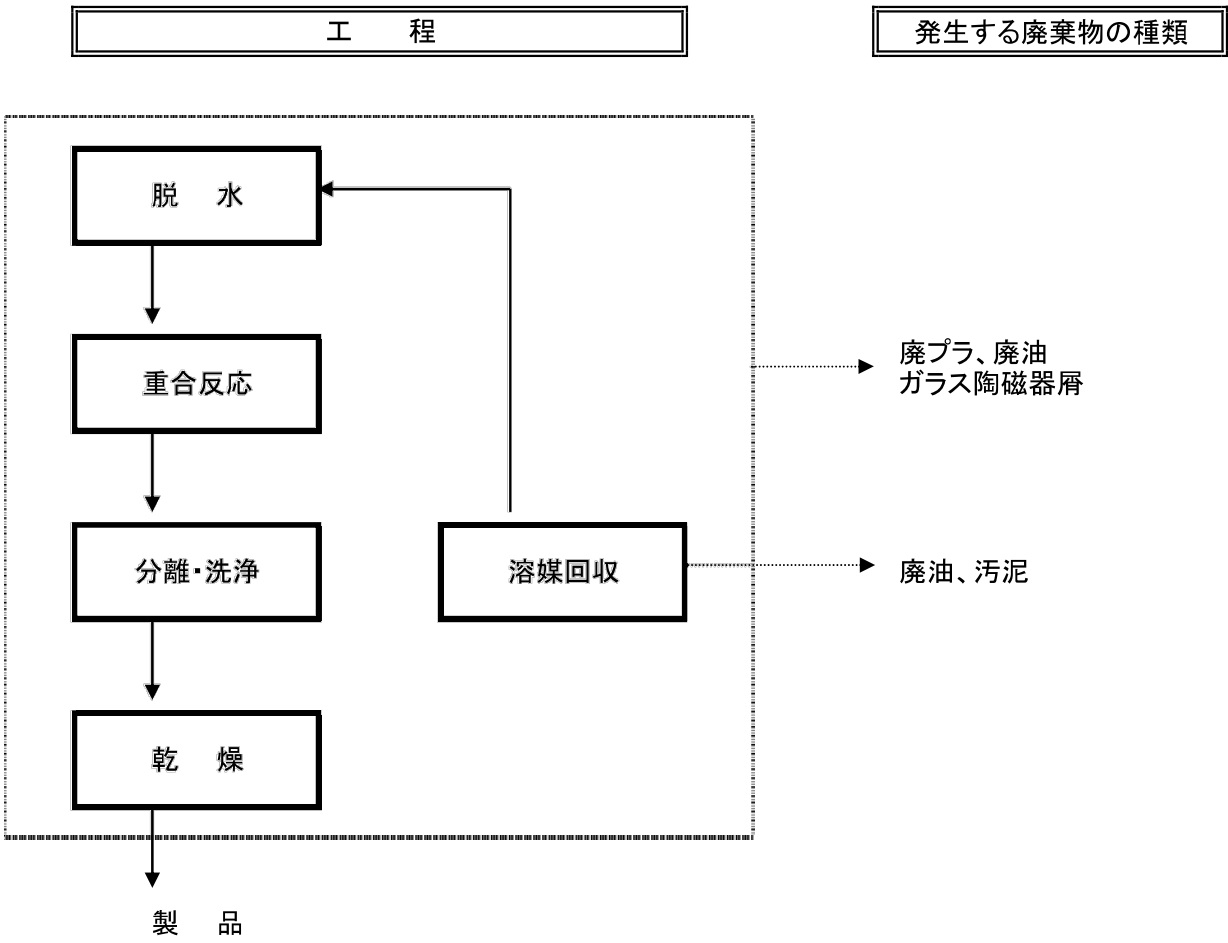
産業廃棄物発生工程フローシート

工程名: ポリエステルチップ製造工程



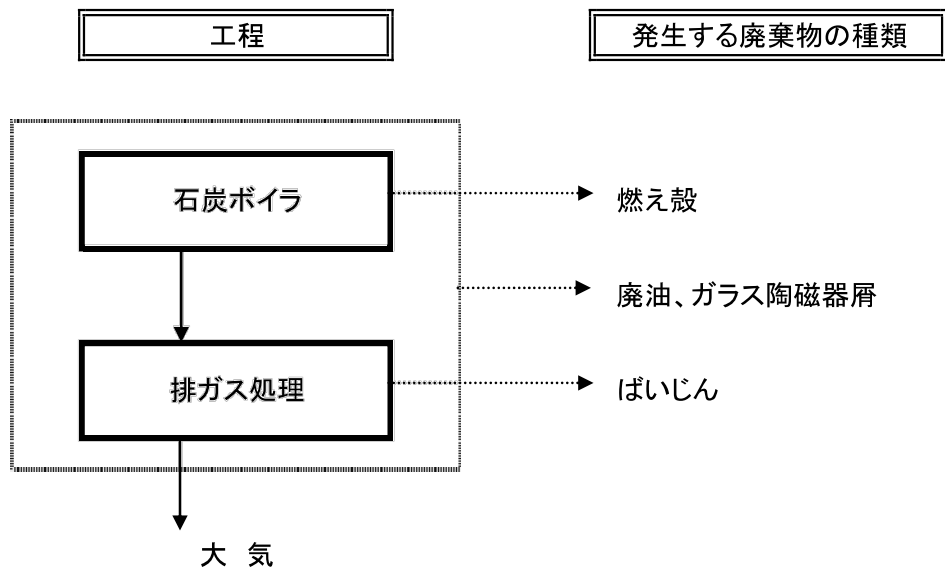
産業廃棄物発生工程フローシート

工程名：ポリフェニレンサルファイド樹脂製造工程



産業廃棄物発生工程フローシート

工程名: 蒸気製造工程



産業廃棄物発生工程フローシート

工程名:排水処理工程

